

## 第9回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日 時：平成28年3月10日(木) 14時00分～16時00分

場 所：奈良経済倶楽部 5階 大会議室

出席者：委員長 吉田 博宣

副委員長 山倉 拓夫

委 員 川瀬 浩、佐野 純子、田中 和博、前迫 ゆり、松井 淳

オブザーバー 春日大社、春日山原始林を未来へつなぐ会

事 務 局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関 係 部 局 《奈良県》景観・自然環境課、森林技術センター、

奈良公園事務所、文化財保存課

《関係機関》奈良市景観課、奈良市文化財課

- 議題
- (1) 春日山原始林における後継樹育成について
  - (2) 春日山原始林における常緑針葉樹ナギの本格的な数量調整について
  - (3) 春日山原始林保全計画のとりまとめについて

報告

議事要旨

- (1) 春日山原始林における後継樹育成について
  - ・ シードバンクからシードリングバンクへと、後継樹育成の取組を充実させるためにも、時間をかけて手法を検証しつつ、具体の事業を実施していく。
- (2) 春日山原始林における常緑針葉樹ナギの本格的な数量調整について
  - ・ 検討委員会として事務局案を了承し、数量調整に着手する。
  - ・ 土壌侵食や、ナンキンハゼの侵入など、春日山原始林への数量調整の影響については十分に留意する。
- (3) 春日山原始林保全計画のとりまとめについて
  - ・ 検討委員会として、保全計画（案）に定められた「保全の基本方針」、「保全方策」、「運営及び体制」の内容を了承し、保全計画をとりまとめることとする。
  - ・ なお、運営及び体制では、行政、活動団体、研究機関の三者を連携しながら、県が事業全体をマネジメントし、保全事業を円滑に実施する。
  - ・ 具体の保全事業の実施にあたっては、今後も検討委員会を継続開催し、必要に応じて議論を深めながら、保全事業を円滑に実施する。